

交付運用報告書 2023年10月期（2022年11月1日～2023年10月31日）

i シェアーズ 世界国債（除く米国）ETF
iShares International Treasury Bond ETF

米ドル建／オープンエンド契約型外国投資信託
米国デラウェア籍法定トラスト

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。
さて、i シェアーズ 世界国債（除く米国）ETF（以下「ファンド」といいます。）の受益証券は、このたび、2023年10月期の決算を行いました。ファンドの投資目的は、先進国市場（除く米国）の国債により構成される指数に連動する運用成果を追求することです。当期につきましてもそれに沿った運用を行いました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

2023年10月末日	
1口当たり純資産価格（基準価格）	36.78米ドル
純資産総額	1,064,779,215米ドル
2023年10月期（2022年11月1日～2023年10月31日）	
トータルリターン	-0.14%
1口当たり分配金額	0.042001米ドル

（注）1口当たり分配金額は、税引前の分配金額を記載しています。以下同じです。

ファンドの運用報告書（全体版）は受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、取次証券会社までお問い合わせください。

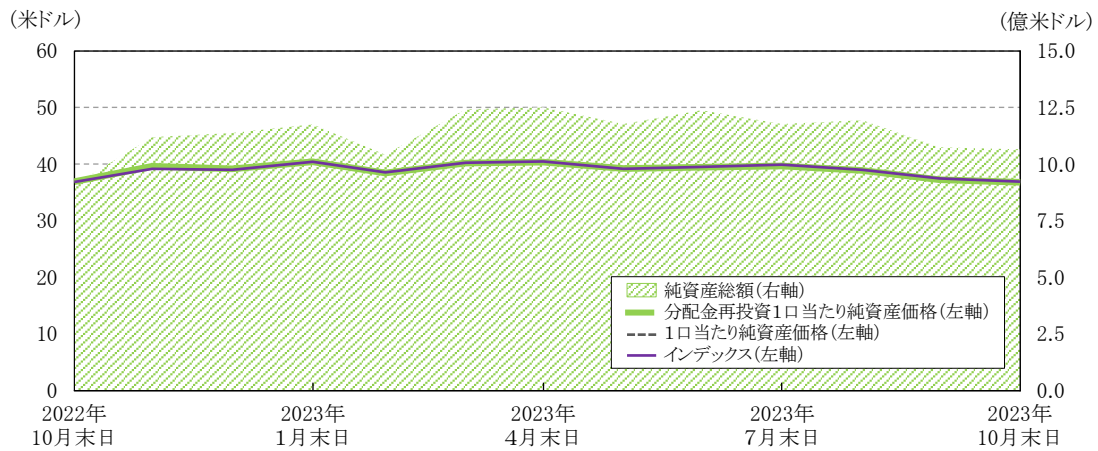
<その他記載事項>

交付運用報告書および運用報告書（全体版）はブラックロック・ジャパン株式会社のウェブサイト（<https://www.blackrock.com/jp/>）の投資信託情報ページにて電磁的方法により提供しております。

トラスト：
i シェアーズ・トラスト

《運用経過》

当期の1口当たり純資産価格等の推移について



2022年10月末日現在の1口当たり純資産価格：36.88米ドル

2023年10月末日現在の1口当たり純資産価格：36.78米ドル

(1口当たり分配金額：0.042001米ドル)

トータルリターン：-0.14%

- (注1) 上記のグラフは、Aladdin®システムから抽出したデータに基づき作成しています。
- (注2) 分配金再投資1口当たり純資産価格は、税引前の分配金を分配時にファンドへ再投資したとみなして算出したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。以下同じです。
- (注3) ファンドのインデックスは、FTSE世界先進国債キャップ・セレクト指数（以下「インデックス」といいます。）です。
- (注4) インデックスおよび分配金再投資1口当たり純資産価格は、2022年10月期末の1口当たり純資産価格を起点として計算しています。
- (注5) 分配金再投資1口当たり純資産価格は、各投資者の購入状況などにより課税条件が異なるため、分配金に対する税金を考慮していません。そのため、最終的な税引後の結果を示すものではありません。

1 口当たり純資産価格の主な変動要因、投資環境およびポートフォリオについて

グローバル債券市場概観

2023年10月31日に終了した年度（以下「当年度」）において、グローバル投資適格債はプラスのリターンを記録しました。世界の債券市場パフォーマンスの広範な指標であるブルームバーグ・グローバル総合指数は当年度において米ドル建てで1.72%のリターンとなりました。長期にわたる利回りの上昇により価格下落の影響を上回るインカムゲインがパフォーマンスに大きく貢献しました。低格付けで高利回りの市場セグメントが総じてアウトパフォームし、短期債が長期債を上回りました。一方、金利感応度の高い投資、特に先進国市場の国債は、概して、相対的に低調なパフォーマンスとなりました。

国債の価格下落は、世界的な金利情勢を反映したものでした。持続的なインフレにより、先進国の中央銀行は利上げを継続せざるを得ませんでした。利上げのペースは鈍化したものの、投資家は金利水準が「より高く、より長く」継続する可能性が高いと予想し始めました。この傾向は特に米国で顕著で、予想を上回る経済成長により、市場は中央銀行による利下げ転換への期待を押し下げ続けました。期初の先物市場では、米国連邦準備制度（以下、「Fed」）による利下げ転換が2023年下半年には行われることを示唆していました。それとは対照的に、利下げ転換のタイミングは10月末までに、2024年後半にシフトしました。日本は相対的に低いインフレ率と経済成長の鈍化が重なっていることから中央銀行がきわめて緩和的な金利政策を維持したため、他の先進国と比べて突出して低い金利となりました。

クレジット志向の市場セグメントは、総じてプラスのパフォーマンスを示し、国債を上回りました。投資家は、世界経済の成長鈍化が予想より深刻でなかったことを好感したようです。また、企業収益は減速したものの、2022年後半時点で予想されていた程の落ち込みはありませんでした。こうした動きは投資家の健全なリスク志向を刺激し、低格付けの投資適格債やハイイールド債のアウトパフォームにつながりました。

新興市場の債券も、先進国市場の国債と比較して持ちこたえました。このカテゴリーは、インカムゲインが大きく貢献したことに加え、高格付けの先進国市場の債券に比べて金利感応度が低いことも追い風となりました。また、新興市場の中央銀行は、大国の中央銀行よりも、利下げ開始の段階に近づいているともみられました。この資産クラスは、当年度の大半を占めていた、全般的にポジティブな「リスクオン」基調からもさらに恩恵を受けました。

為替変動は外貨建債券のリターンに大きな影響を及ぼしました。Fedが中立的な政策に移行するとの見方が広がったことから、米ドルは期初の2ヵ月間で急落し、米国以外の債券のリターンを押し上げました。一方、7月中旬以降のドル高は、それまでの上昇分をすべて取り崩し、世界の市場のリターンを圧迫しました。

1. 運用の経過

iシェアーズ 世界国債 (除く米国) ETF

2023年10月31日現在のファンド概要

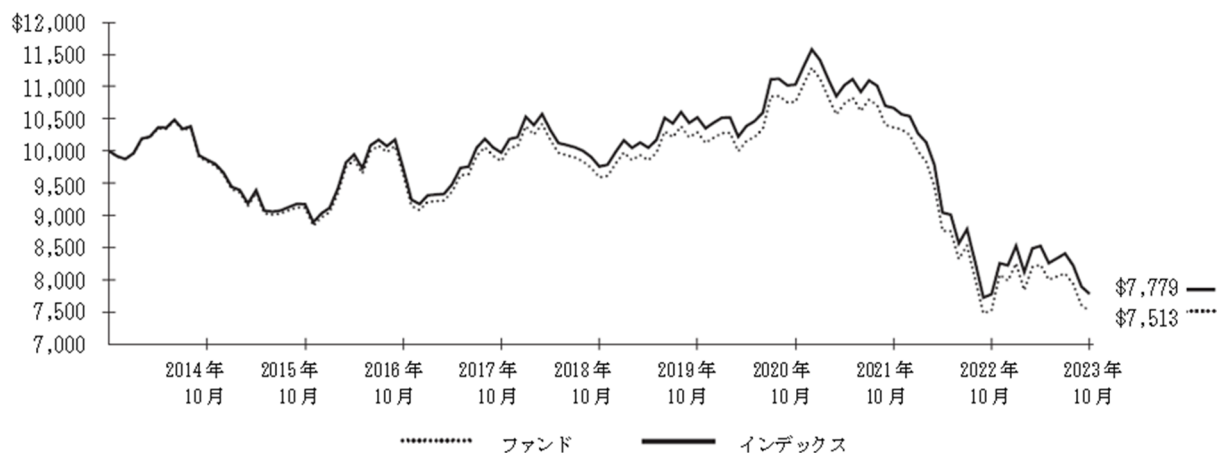
投資目的

iシェアーズ 世界国債 (除く米国) ETF (以下「ファンド」) は、FTSE世界先進国債キャップ・セレクト指数 (以下「インデックス」) に代表される、米国以外の先進国市場の国債からなるインデックスの投資成果に追随することを目指しています。ファンドは、全体としてインデックスと同様の投資特性を有する、インデックスに含まれる代表的な構成銘柄を組入れています。代表的な構成銘柄の組入れにより、ファンドはインデックスに含まれる銘柄のすべてを保有する場合もあれば、しない場合もあります。

パフォーマンス

	年間平均トータルリターン			累積トータルリターン		
	1年	5年	10年	1年	5年	10年
ファンドのNAV	(0.14) %	(4.77) %	(2.82) %	(0.14) %	(21.66) %	(24.87) %
ファンドの市場	(0.38) %	(4.77) %	(2.84) %	(0.38) %	(21.67) %	(25.05) %
インデックス	0.07 %	(4.43) %	(2.48) %	0.07 %	(20.29) %	(22.21) %

10,000米ドル投資の純資産価額の推移



2020年8月31日までのインデックスのパフォーマンスは、S&P インターナショナル・ソブリン債指数（除く米国）のパフォーマンスを反映しています。2020年9月1日から開始するインデックスのパフォーマンスは、FTSE 世界先進国債キャップ・セレクト指数のパフォーマンスを反映しています。

過去のパフォーマンスは、将来のパフォーマンスを示唆するものではありません。運用パフォーマンスの結果は、ファンドの分配時あるいはファンド受益証券の償還時または売却時に受益証券保有者が支払う可能性のある税金の控除を反映していません。

費用例

実績値			5%の仮説リターンに基づく仮定値			
口座の 期首価額	口座の 期末価額	当期間の 費用 支払額 ^(a)	口座の 期首価額	口座の 期末価額	当期間の 費用 支払額 ^(a)	費用比率 (年率)
2023年5月1日	2023年10月31日		2023年5月1日	2023年10月31日		
1,000.00 米ドル	912.60 米ドル	1.69 米ドル	1,000.00 米ドル	1,023.40 米ドル	1.79 米ドル	0.35%

^(a) 費用は、当期間中の口座の平均価額に、年率換算された費用比率および 184/365（表示されている半年の期間を反映）を乗じたものに相当します。売買委託手数料および金融仲介業者へのその他の手数料など、上記の表や例には反映されないその他の手数料が支払われる場合があります。

ポートフォリオ管理の説明

インデックスに示されるように、世界の国債のリターンは、利回りの上昇と価格の下落により圧迫され、当年度は全体としてマイナス圏にありました。中央銀行は、歴史的な高インフレが続く中で金利の引き上げを継続し、世界的にイールドカーブが上昇しました。

中東圏市場のパフォーマンスがインデックスのリターンを最も圧迫し、次いでドル圏、アジア圏の順となりました。プラスに寄与したのは、市場ウェイトでインデックスの3分の2近くを占めるユーロ圏債券に限られました。欧州中央銀行の利上げペースが期を追うごとに段階的となったため、当該市場の利回りと価格は安定しました。

債券の満期別では、金利変動に対する感応度が高い満期10年超の債券が、インデックスのリターンを最も引き下げました。その他の満期区分は、満期5-7年区分を筆頭にすべてプラスのパフォーマンスとなりました。

ポートフォリオ情報

格付け別内訳

ムーディーズ格付け*	総投資比率 ^(a)
Aaa	33.1%
Aa	27.5
A	15.6
Baa	10.8
格付けなし	13.0

地域別内訳

国/地域名	総投資比率 ^(a)
日本	13.8%
フランス	8.7
イタリア	7.7
ドイツ	6.7
スペイン	5.1
英国	5.1
フィンランド	4.7
アイルランド	4.6
オランダ	4.6
オーストリア	4.6

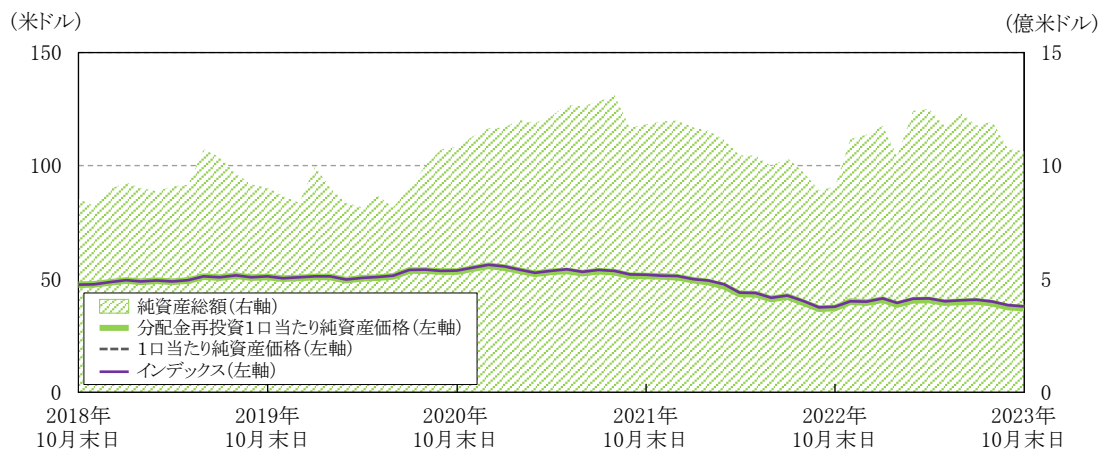
* 上記の信用格付けは、広く利用されており独立した、全国的に認知度の高い統計的格付け機関であるムーディーズ・インベスターズ・サービス（以下「ムーディーズ」）が指定した格付けです。ムーディーズの信用格付けは、個々の債券の信用の質や発行体の総体的な信用度に関する意見です。投資適格はBaa以上の信用格付け、投資適格を下回る格付けはBa以下の信用格付けを指します。格付けなしの投資は、必ずしも信用の質が低いことを意味するものではありません。信用格付けは変更されることがあります。

^(a) マネー・マーケット・ファンドを除く。

費用の明細

項目	項目の概要	
投資顧問報酬	平均日次純資産総額の年率0.35%	ファンドに提供する投資顧問サービスの対価
その他の費用	0%	該当事項はありません

最近5年間の1口当たり純資産価格等の推移について



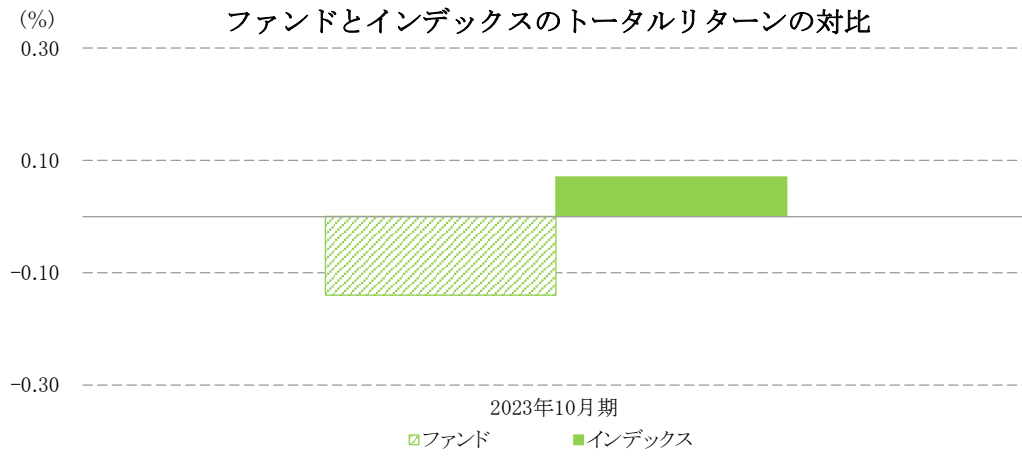
	2018年 10月末日	2019年 10月末日	2020年 10月末日	2021年 10月末日	2022年 10月末日	2023年 10月末日
1口当たり純資産価格 (米ドル)	47.45	50.76	52.95	51.00	36.88	36.78
1口当たり分配金額 (米ドル)	—	0.150985	0.121928	0	0.196847	0.042001
ファンドのトータル リターン (%)	—	7.31	4.57	−3.68	−27.42	−0.14
インデックスのトータル リターン (%)	—	7.82	4.85	−3.29	−27.14	0.07
純資産総額 (千米ドル)	851,684	903,457	1,082,929	1,183,210	916,358	1,064,779

(注1) 上記のグラフは、Aladdin®システムから抽出したデータに基づき作成しています。

(注2) インデックスおよび分配金再投資1口当たり純資産価格は、2018年10月期末の1口当たり純資産価格を起点として計算しています。

(注3) 上記のグラフおよび表のインデックスは、2020年8月31日までは、S&Pインターナショナル・ソブリン債指数（除く米国）のパフォーマンスを反映しており、2020年9月1日以降は、FTSE世界先進国債キャップ・セレクト指数のパフォーマンスを反映しております。

ベンチマークとの差異について



分配金について

当期（2022年11月1日～2023年10月31日）の1口当たり分配金（税引前）はそれぞれ下表のとおりです。
 なお、下表の「分配金を含む1口当たり純資産価格の変動額」は、当該分配落日における1口当たり分配金額と比較する目的で、便宜上算出しているものです。

（金額：米ドル）

分配落日	1口当たり純資産価格	1口当たり分配金額 (対1口当たり純資産価格比率 ^(注1))	分配金を含む1口当たり純資産価格の変動額 ^(注2)
2022年12月15日	39.82	0.042001 (0.11%)	-10.83

(注1) 「対1口当たり純資産価格比率」とは、以下の計算式により算出される値であり、ファンドの収益率とは異なる点にご留意ください。

対1口当たり純資産価格比率 (%) = $100 \times a / b$

a = 当該分配落日における1口当たり分配金額

b = 当該分配落日における1口当たり純資産価格 + 当該分配落日における1口当たり分配金額

(注2) 「分配金を含む1口当たり純資産価格の変動額」とは、以下の計算式により算出されます。

分配金を含む1口当たり純資産価格の変動額 = $b - c$

b = 当該分配落日における1口当たり純資産価格 + 当該分配落日における1口当たり分配金額

c = 当該分配落日の直前の分配落日における1口当たり純資産価格

(注3) 2022年12月15日の直前の分配落日（2021年12月16日）における1口当たり純資産価格は、50.69米ドルでした。

《今後の運用方針》

引き続き、インデックスのパフォーマンスと密接に連動した投資成果を提供することを目指し、ファンドの運用を行う予定です。

《お知らせ》

該当事項はありません。

《ファンドの概要》

ファンド形態	米ドル建て／オープンエンド契約型外国投資信託 米国デラウェア籍法定トラスト
信託期間	無期限
運用方針	ファンドの投資目的は、先進国市場（除く米国）の国債により構成される指数に連動する運用成果を追求することです。
主要投資対象	ファンドは、少なくともその資産の80パーセント以上をFTSE世界先進国債キャップ・セレクト指数（FTSE World Government Bond Index - Developed Markets Capped Select Index）（以下「インデックス」といいます。）を構成する有価証券に、少なくともその資産の90パーセント以上をファンドによるインデックスの連動に資するとBlackRock Fund Advisorsが考える、インデックスに含まれている種類の固定利付債券に、またその資産の10パーセント以下をファンドによるインデックスの連動に資するとBlackRock Fund Advisorsが考える先物、オプションおよびスワップ契約に投資します。
運用方法	ファンドは、特定の先進国市場における、固定利付、現地通貨建て、投資適格のソブリン債の実績を測定するFTSE世界先進国債キャップ・セレクト（WGBI-DM）指数（FTSE World Government Bond Index - Developed Markets（WGBI-DM） Index）の部分集合であるインデックスに連動する運用成果を追求します。 BlackRock Fund Advisorsは、ファンドの投資目的を達成するために、インデクシング・アプローチを使用します。 BlackRock Fund Advisorsは、ファンドの運用につき代表サンプリング指数戦略を使用します。代表サンプリングとは、全体としてインデックスの代表サンプルと類似する投資プロファイルを有する証券の代表サンプルに投資する指数戦略をいいます。
投資制限	<ol style="list-style-type: none"> 1. 投資を集中させること（すなわち、全資産の25パーセント以上、特定の産業または産業グループの有価証券に投資すること）。但し、ファンドは、インデックスが特定の産業または産業グループに有価証券を集中させる程度とほぼ同程度に投資を集中させます。かかる制限の目的上、米国政府（その支分機関および系列機関を含みます。）の証券、米国政府証券の担保付き買戻契約および州または地方政府もしくはその政府当局の証券は、いかなる産業の構成員から発行されたものとして解釈されません。 2. 借入を行うこと。但し、（i）ファンドは、これを行わなければ時機を失した証券の処分を要することとなる買戻請求に対応することを含む臨時または緊急目的（レバレッジ目的を除きます。）で銀行から借入を行うことができ、（ii）ファンドは、その投資方針と合致している限り、買戻契約、逆買戻契約、先送り取引、およびこれらと類似する他の投資戦略および技術を履行することができます。（i）および（ii）の取引を行う場合に限り、当該取引からファンドは総資産（借入額を含みます。）の33%パーセント以上を取得してはならないという制限が課されます。当該金額を超過する借入は、適用法に基づき縮減されます。 3. 優先的受益証券を発行すること。但し、米国1940年投資会社法で認められているか、または、管轄権を有する規制当局が、随時、解釈、修正その他により許可する場合を除きます。

	<p>4. 貸付を行うこと。但し、米国1940年投資会社法で認められているか、または、管轄権を有する規制当局が、随時、解釈、修正その他により許可する場合を除きます。</p> <p>5. 不動産を売買すること。但し、かかる制限は、証券もしくはその他の商品を所有した結果として取得すること（不動産事業に従事する会社の証券または不動産もしくはモーゲージにより担保された証券もしくはその他の商品への投資を含みます。）またはファンドがコモディティおよびコモディティ契約を取引すること（ファンドの投資目的および投資方針と合致している限り、為替オプションを含む先物契約及び先物契約オプションを含みます。）を禁止するものではありません。</p> <p>6. 他の者が発行した証券の引受業務に携わること。但し、ポートフォリオ証券の処分により、ファンドが、厳密には、米国1933年証券法における引受人とみなされる場合を除きます。</p>
<p>分配方針</p>	<p>ファンドは、通常、純投資収益からの分配金（もしあれば）を、少なくとも年に一回宣言し支払います。証券の実現純収益（もしあれば）の分配は、通常年に一回宣言され、支払われますが、トラストは、ファンドに関してより頻繁に分配を行うことができます。トラストの登録投資会社としての地位を維持するため、または、分配されない収益または実現利益に所得税もしくは消費税が賦課されることを回避するために必要または望ましいとトラストがその合理的裁量により決定した場合、臨時分配金を宣言する権利を有します。</p>

《ファンドデータ》

組入資産の内容（2023年10月期末現在）

組入上位資産

(注) 組入上位銘柄および組入銘柄数は、ファンドのアンニュアル・レポートその他の現地開示書類において開示が行われていないため、記載することができません。組入銘柄の詳細は、運用報告書（全体版）の「IV. 投資有価証券の主な銘柄」を参照ください。

組入資産の資産別配分、国別配分および通貨別配分

(注1) ファンドの組入資産の資産別配分、国別配分および通貨別配分は、ファンドのアンニュアル・レポートその他の現地開示書類において開示が行われていないため記載することができません。

(注2) ファンドの組入銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

純資産等

2023年10月期末	
1口当たり純資産価格	36.78米ドル
純資産総額	1,064,779,215米ドル
発行済口数	28,950,000口

2023年10月期		
販売口数	買戻口数	発行済口数
15,400,000	11,300,000	28,950,000

本報告書に記載の「1口当たり純資産価格の主な変動要因、投資環境およびポートフォリオについて」は、ファンドのアンニュアル・レポートの該当部分の翻訳であり、本報告書と原文（英文）との間に相違がある場合には、原文（英文）の内容に従うこととなります。なお、原文（英文）の記載のうち、ファンドに関係しない部分を省略する場合があります。